

# おやこ一冊読書

平成23年度から、鹿児島県立図書館では「おやこ一冊読書」の取組を呼びかけています。

## 「おやこ一冊読書」ってなあに？

一冊の本を親と子が一緒に読み味わう読書の方法です。

「おやこ」には、兄弟姉妹、祖父母と孫、先生と生徒、地域の大人と子ども、友だち同士なども含まれます。

## 「おやこ一冊読書」にはどんなよさがある？

1 親子の絆が深まります。

喜びや悲しみを共有したね。

寄り添っているお互いの温もりを感じたね。

物語に含まれる人の生き方や考え方を語り合ったね。

語り合ったことで、お互いの思いを知ったね。



2 一冊の本をじっくりと読む習慣が身に付きます。

読書というと、何冊読んだかといった冊数ばかりに目が向きがちですが、一冊の本をじっくりと繰り返し読むということもまた大切です。

## どのように取り組めばいいの？

読み聞かせなど家族と一緒に20分程度本を楽しみましょう。

親が、子どもの頃に読んだ思い出の本を薦めてみましょう。

子どもが読んでおもしろかったという本を、親も読んでみましょう。

誕生日などに本をプレゼントしてみましょう。



親子で読んで、楽しいひと時を過ごせたら……。

親子で感じたことを語り合えたら……。

子どもが繰り返しその本をもってきて読んでほしいと言ったら……。



その本は **「宝本」** です。